

令和元年度 社会福祉法人みどり市社会福祉協議会

事業報告

【概況報告】

年号が改められた令和元年度は、台風など大規模災害の発生による被害や、年度末から感染が拡大している新型コロナウイルスの影響により学校の臨時休校、商店などの営業自粛、国民の外出自粛要請など、我々の生活に大きな影響を受けた年度でした。この事態は現在もなお続いています。

そのような状況の中で、本会では業務を停滞させることなくさまざまな事業の展開に努めました。

まず、法人としてのガバナンスを強化するため、本会運営及び業務の細部を定めた定款施行細則の施行、本会が提供する福祉サービスへの苦情や要望を適切に解決するための苦情解決規程と役員等の報酬等に関する規程を改正しました。

次に、理事専門部会により今後の法人運営の方向性を検討しました。総務部会では、事務局組織を改編することとし、地域福祉部会では、障害者福祉センター機能の強化等を目的に障がい福祉サービスの提供体制を見直すこととしました。いずれも令和3年度に開始すべく準備を進めております。

事業では、第2期地域福祉活動計画に沿ったものを中心に取り組みました。また、計画の最終年度を迎え、これまでの活動を振り返るとともに、第3期地域福祉活動計画策定のために市民のみなさんの意見を集約し、策定作業を終えました。

安心支援事業は、地域の皆さんとの連携や助け合い活動として事業を展開しました。具体的には、サービス提供範囲をみどり市全域とし、多くの方にご利用いただくよう周知活動にも力を注ぎ、その結果、利用者の増加につながり多くの方に喜んでいただきました。

地域で暮らす高齢者の生活を支援するため、市全域の課題などを共有する第1層協議体（市内各団体等の代表者）を運営しました。また、町域による第2層協議体（町内の福祉関係者）は地域での福祉課題解決のための話し合いやアンケートによる高齢者の見守りなどに取り組んできました。

新型コロナウイルスの影響を受けながらも、児童の健全育成と働きながら子育てする世帯を支援するため、学童保育所（親老児童館及び笠懸東学童クラブ）を臨時休館することなく開設してきました。また、高齢者や障がい者の生活を支援するため、介護事業や地域活動支援センター事業なども継続実施しました。

ここに、改めて市民のみなさんをはじめ、ご支援、ご協力いただいた関係各位に感謝申し上げますとともに、今後とも地域福祉推進のため、一層のご理解とご協力をお願いいたします。

- 凡例
- ※1 各種事業の詳細は、付属明細書として記載しています。
 - ※2 表中にある（ ）内の数字は前年度との比較を示しています。
 - ※3 「社会福祉法人みどり市社会福祉協議会」を「みどり市社協」と表記しています。

■ 法人運営 (成果)

- 1 理事専門部会を設置し、会長からの諮問事項を検討の上答申した。
 - (1) 総務部会 組織機構の見直しについて
 - (2) 地域福祉部会 介護事業・障がい者福祉事業の今後の展開について
- 2 苦情解決規程及び役員等の報酬等の規程の改正を行い、健全な法人運営に努めた。
- 3 役職員研修は、県社協などが開催するものに参加するとともに、理事会及び評議員会においてその役割の理解を深めた。

(課題)

- 1 業務執行にあたり、具体的な業務マニュアルの作成が不十分であった。

1 理事会の開催状況

【第1回理事会】令和元年6月6日（木） みどり市笠懸保健センター
報告第1号 理事、評議員、顧問の交代について

議案第1号 任期満了に伴う役員推薦について

議案第2号 役員等の報酬等に関する規程の一部改正について

議案第3号 平成30年度 事業報告の承認について

議案第4号 平成30年度 決算の承認について
監査報告について

議案第5号 令和元年度 定時評議員会の開催について

【第2回理事会】令和元年6月24日（月） みどり市笠懸保健センター
議案第1号 会長、副会長及び常務理事の選定について

議案第2号 苦情解決第三者委員の選任について

【第3回理事会】令和元年11月29日（金） みどり市笠懸保健センター
報告第1号 会長及び常務理事の職務の執行状況報告について

報告第2号 訪問入浴ステーション事業の廃止について

議案第1号 理事候補者の推薦について

議案第2号 評議員候補者の推薦について

議案第3号 苦情解決規程の一部改正について

議案第4号 令和元年度第1回収支補正予算の設定について

議案第5号 令和元年度第2回評議員会の開催について

- 【第4回理事会】令和2年3月18日（水） みどり市笠懸保健センター
報告第1号 理事及び評議員の交代報告について
- 報告第2号 会長及び常務理事の職務執行報告について
- 議案第1号 東支所長の任用について
- 議案第2号 理事候補者の推薦について
- 議案第3号 評議員候補者の推薦について
- 議案第4号 小口生活資金貸付事業 償還不能者・所在不明者の償還免除について
- 議案第5号 令和2年度事業計画の策定について
- 議案第6号 令和2年度収支予算の設定について
- 議案第7号 令和元年度第3回評議員会の開催について
- 議案第8号 令和元年度第3回評議員会の開催についての取下げについて
- 議案第9号 令和元年度第3回評議員会の開催に代わる書面表決によるみなし決議について

2 評議員会の開催状況

【第1回評議員会】令和元年6月24日（月） みどり市笠懸保健センター
(定時評議員会)

- 報告第1号 理事、評議員、顧問の交代について
- 議案第1号 任期満了に伴う役員を選任について
- 議案第2号 役員等の報酬等に関する規程の一部改正について
- 議案第3号 平成30年度 事業報告の承認について
- 議案第4号 平成30年度 決算の承認について
監査報告について

【第2回評議員会】令和元年12月13日（金） みどり市笠懸保健センター

- 報告第1号 評議員の交代について
- 報告第2号 訪問入浴ステーション事業の廃止について
- 議案第1号 理事の選任について
- 議案第2号 令和元年度第1回収支補正予算の設定について

【第3回評議員会】令和2年3月26日（木） ※書面表決のため開催なし
議案第1号 小口生活資金貸付事業償還不能者・所在不明者の償還免除について

議案第2号 令和2年度事業計画の策定について

議案第3号 令和2年度収支予算の設定について

3 監査の開催

(1) 監査

- ① 平成31年4月25日（木） みどり市社協本所
事務局組織、勤務実態及び業務量等について
- ② 令和元年 5月27日（月） みどり市社協本所
法人の業務監査と会計監査

4 理事専門部会の開催

(1) 総務部会

- ① 第1回（11/29）
 - ア 昨年度の経緯と今後の考え方について
 - イ 令和元年度の進め方について
 - ウ 職員アンケートの結果について
- ② 第2回（1/23）
 - ア アンケートと職員会議を通じた職員の満足度と組織への考え方について
 - イ 組織図例の検討と組織図（案）の決定について
 - ウ 今後のスケジュールについて
- ③ 第3回（2/17）
 - ア 組織図の見直しについて（答申案）
 - イ 来年度の総務部会の進め方について
 - ウ 今後のスケジュールについて
- ④ 答申（3/10）

(2) 地域福祉部会

- ① 第1回（11/29）
 - ア 昨年度の経緯と今後の考え方について
 - イ みどり市社協が実施する障がい者福祉事業の整理（案）について
- ② 第2回（1/22）
 - ア みどり市社協における地域福祉事業・障がい者福祉事業を取り巻く課題について
 - イ みどり市社協が実施する障がい者福祉事業の整理（案）について
 - ウ みどり市社協組織機構の見直しに係る介護事業の今後の展開について
- ③ 第3回（2/20）
 - ア 介護事業・障がい者福祉事業の今後の展開にかかる答申案の検討について
- ④ 答申（3/10）

5 正副会長常務理事会議の開催

- 第 1 回 平成31年4月9日
- 第 2 回 令和元年5月21日
- 第 3 回 令和元年8月6日
- 第 4 回 令和元年9月10日
- 第 5 回 令和元年10月8日
- 第 6 回 令和元年11月19日
- 第 7 回 令和元年12月10日
- 第 8 回 令和2年1月14日
- 第 9 回 令和2年2月12日
- 第 10 回 令和2年3月10日

— みどり市社協本所

6 第三者委員会の開催

- 第 1 回 令和元年7月26日

みどり市社協本所

7 評議員選任・解任委員会の開催

- 第 1 回 令和元年5月31日
- 第 2 回 令和元年12月5日

— みどり市社協本所

8 その他の会議への出席

- ・ 市町村社協会長会議
- ・ 学童保育担当者会議
- ・ みどり市高齢者虐待対応・認知症高齢者支援ネットワーク推進会議
- ・ みどり市図書館協議会
- ・ 地域包括支援センター管理者会議
- ・ 地域包括支援センター全体会議
- ・ みどり市支援調整会議
- ・ 就労準備支援事業・家計改善支援事業の実施に向けた検討会
- ・ 第3期地域福祉計画・地域福祉活動計画策定懇談会
- ・ 第3期地域福祉計画・地域福祉活動計画検討部会
- ・ 在宅医療介護連携センターきりゅう運営会議
- ・ 群馬県ふくし総合相談支援事業なんでも福祉相談員地区別連絡会議
- ・ 市町村等認知症施策担当者会議
- ・ みどり市地域ケア推進会議
- ・ 指定地域密着型通所介護事業所 デイサービス心音運営推進会議
- ・ 指定地域密着型通所介護事業所 デイサロン心音運営推進会議
- ・ 指定地域密着型通所介護事業所 デイサービス笑々運営推進会議
- ・ 高齢者虐待講演会打ち合わせ会議
- ・ 大学・短期大学・専門学校ボランティア担当教職員等連絡会議
- ・ 県自立支援型ケアマネジメント推進事業事務担当者会議
- ・ 生活福祉資金貸付事業・市町村社協事務局長会議

9 委員会等への参画

- ・ みどり市民生委員推薦会
- ・ 社会福祉法人チハヤ会（は一とふるチハヤ）評議員会
- ・ 社会福祉法人美幸会（かさかけの里）評議員会
- ・ みどり市障害者介護給付費認定審査会
- ・ みどり市社会を明るくする運動推進委員会
- ・ みどり市要保護児童対策地域協議会
- ・ 桐生地域生活保護受給者等就労自立促進事業協議会
- ・ 喫茶ぺちやくちゃ運営委員会
- ・ みどり市地域包括支援センター運営協議会
- ・ 桐生地域リハビリテーション推進協議会
- ・ みどり市認知症初期集中支援チーム検討委員会
- ・ エンディングノート普及啓発に関する準備委員会
- ・ エンディングノート作成委員会
- ・ 男女共同参画審議会

10 職員研修の実施、参加

【法人運営関係】

- ・ 障害者雇用連絡会議
- ・ 市町村社会福祉協議会 経理研修会
- ・ パートタイム、有期雇用労働法等説明会
- ・ 危険物取扱者保安講習会
- ・ 社会福祉法人会計基準講習会（初任者向け）
- ・ 年末調整説明会
- ・ 働き方改革セミナー
- ・ 福祉施設等初任者キャリアアップ研修
- ・ 福祉施設等中堅職員研修Ⅰ
- ・ チームリーダーキャリアアップ研修
- ・ 市町村社協管内における社会福祉法人連絡会の設置・運営に向けた情報交換会
- ・ 市町村社会福祉協議会 事業継続計画（BCP）策定研修会
- ・ 群馬県内社協職員連絡協議会総会及び研修会
- ・ 関東ブロック郡市区町村社協職員合同研究協議会

【地域福祉関係】

- ・ ふれあい・いきいきサロン研修会
- ・ 生活支援コーディネーター養成研修
- ・ 生活支援コーディネーターフォローアップ研修
- ・ 生活支援体制整備事業に係る市町村情報交換会
- ・ 生活支援体制整備事業ステップアップ研修
- ・ 群馬県ふくし総合相談支援事業なんでも福祉相談員研修会Ⅰ（基礎編）
- ・ 群馬県ふくし総合相談支援事業なんでも福祉相談員研修会Ⅱ（実践編）

【ボランティア育成支援関係】

- ・ 市町村社協災害VC・災害支援担当者連絡会議・災害支援セミナーⅠ
- ・ ボランティアコーディネーター研修会Ⅰ
- ・ ボランティアコーディネーター研修会Ⅱ

【児童福祉関係】

- ・ 放課後児童支援員認定資格研修
- ・ 放課後児童支援員資質向上研修
- ・ 防火管理者講習
- ・ 現代的課題解決支援講座
- ・ 発達障害支援者研修
- ・ 普通救命講習

【援護関係】

- ・ 群馬県生活困窮者自立支援制度新任職員研修
- ・ 群馬県生活困窮者自立支援制度現任職員研修
- ・ 自立相談支援事業従事者養成研修【前期】共通カリキュラム
- ・ 自立相談支援事業従事者養成研修【後期】相談支援員
- ・ 自立相談支援事業従事者養成研修【後期】就労支援員
- ・ 生活困窮者自立相談支援機関情報交換会

【生活福祉資金関係】

- ・ 生活福祉資金貸付事業・担当者研修会

【介護事業関係】

- ・ みどり市介護支援専門員研修会
- ・ 「ケアマネわたらせの会」桐生・みどり支部研修会
- ・ 介護保険事業所苦情処理研修会
- ・ みどり市高齢者虐待防止講演会
- ・ 人生の最終段階における医療・ケアを考える講演会
- ・ がん患者の在宅療養支援のための医療介護連携研修
- ・ 介護・看護合同学習会
- ・ 群馬県認知症介護基礎研修
- ・ 介護保険事業所苦情処理研修会－国保連合会の電話相談－
- ・ 難病患者等ホームヘルパー養成研修（難病基礎課程Ⅰ）

【地域包括支援センター】

- ・ ケアマネ研修会（講演会）
- ・ 2020年講演会 in伊勢崎（エフビー介護サービス）
- ・ 介護予防支援従事者研修
- ・ 地域包括支援センター職員基礎研修
- ・ 養護者による高齢者虐待対応現任者研修
- ・ 養介護施設従事者等による高齢者虐待対応現任者研修
- ・ 初任者研修
- ・ 自立支援型ケアマネジメント推進事業市町村及び介護事業所向け研修
- ・ 介護・看護合同学習会
- ・ 地域包括支援センター・在宅介護支援センター研究大会
- ・ 地域包括支援センター・在宅介護支援センター現任者研修会
- ・ コミュニティソーシャルワーク研修会
- ・ 傾聴について学ぶ研修
- ・ 県フレイル予防インストラクター養成講座
- ・ ひきこもり支援関係職員研修会
- ・ 上毛地方協議会
- ・ 県若年性認知症事例検討会
- ・ 桐生市・みどり市精神保健福祉講演会
- ・ 地域包括支援センター機能強化のための研修（指導者研修）
- ・ フレイル予防講演会
- ・ 高齢者虐待防止講演会
- ・ みどり市認知症サポーター養成講座
- ・ みどり市認知症サポーターステップアップ研修
- ・ みどり市介護支援専門員研修（行政説明）
- ・ 群馬県介護支援専門員協会 桐生・みどり支部研修会
- ・ 在宅医療・介護連携に関する情報交換会

【障害者福祉センター】

- ・ 発達障害支援者研修（基礎編）オブザーバー
- ・ 群馬県特別支援学校桐生みどり地域総合支援ネットワーク相談会
- ・ 群馬県相談支援事業所集団説明会
- ・ ひきこもり支援関係職員研修会
- ・ 群馬県障害者虐待防止・権利擁護研修
- ・ 市町村障害福祉業務担当新任職員研修会
- ・ 精神保健福祉初任者研修
- ・ 前橋刑務所（矯正施設）・前橋地方検察庁見学会
- ・ 群馬県かかりつけ医発達障害対応力向上委研修

■ 近隣社協との連携

(成果)

- 1 桐生市社協との連携事業を実施するとともに、互いの広報紙に情報を掲載した。また、コロナウイルス感染拡大防止などの件について、県社協と情報交換した。

(課題)

- 1 桐生市以外の社協との積極的な連携が不十分であった。

1 近隣社協との連携

- (1) 県内社協と情報交換を密にし、桐生市社協の間では連携事業に取り組んだ。

高校生ボランティアスクール、小中学生夏休みボランティア体験スクール、社協広報紙の掲載

- (2) コロナウイルス感染拡大防止などの件について、県社協と情報交換し協力体制を敷いた。

■ 広報・啓発

(成果)

- 1 社協だよりだけでなく、市広報、各種新聞などの媒体を用いて広報することができた。また、文字を大きくする、写真やイラストを使うなど、視覚に訴える紙面づくりに努めた。

(課題)

- 1 情報媒体を見やすく分かりやすくして、より多くの情報提供をしたい。

1 社協広報紙「みどり市社協だより」の発行

身近な福祉情報を各家庭に配布した。紙面は、タイムリーな情報の掲載に努め、文字や写真、イラストなどにより見やすく読みやすいものを目指し工夫した。

	発行日	発行部数
第 51号	令和 元年 7月 5日	19,300 部
第 52号	令和 元年 9月 5日	19,300 部
第 53号	令和 元年 12月 5日	19,300 部
第 54号	令和 2年 3月 5日	19,300 部

2 ホームページによる情報発信

広報啓発として、ホームページのより積極的な活用を進めるため、タイムリーな情報発信に努めた。

3 各施設における広報啓発活動の推進

施設の活動紹介などの情報提供を行うことで、施設の理解を深め、利用の推進につながるように努めた。

(1) 親老児童館

「児童館だより」(月刊)の発行 全 12 回

(2) 笠懸東学童クラブ

「学童クラブだより」(月刊)の発行 全 12 回

4 各種事業における周知・啓発

多くの人へ周知するため市広報等を活用し、時宜を捉えた事業紹介や啓発活動を行った。

【市広報紙掲載】

令和元年 5月号	手話体験教室参加者募集
令和元年 6月号	母子寡婦会 親子ふれあい交流事業参加者募集 生活困窮者自立支援事業 相談窓口のご案内 手話講習会入門編受講生募集 家族介護者リフレッシュサロン参加者募集
令和元年 9月号	みどり市敬老旅行参加者募集 心身障がい者療育訓練事業参加者募集 若年ひとり親家庭等の集い②日帰りバス旅行参加者募集 家族介護者リフレッシュサロン参加者募集
令和元年10月号	赤い羽根共同募金協力依頼 若年ひとり親家庭等ディズニーシーの旅参加者募集 母子寡婦会 親子ふれあい交流事業参加者募集
令和元年12月号	歳末たすけあい募金協力依頼 日常生活自立支援事業普及啓発講演会参加者募集
令和2年 1月号	日常生活自立支援事業生活支援員募集
令和2年 2月号	生活困窮者自立支援事業 相談窓口のご案内 母子寡婦会 若年ひとり親家庭との交流会参加者募集
令和2年 3月号	共同募金お礼と報告

○毎号掲載

無料相談コーナー

- ・ 心配ごと相談、行政相談、人権相談
- ・ 法律相談（弁護士相談）
- ・ 高齢者相談
- ・ 介護予防教室のお知らせ

【その他】

桐生タイムス	5月11日	手話体験教室参加者募集
〃	5月30日	手話講習会入門編参加者募集
〃	10月 8日	笠懸ライオンズクラブから寄附
〃	11月 5日	あかぎクラブ東毛支部から寄附
〃	12月 7日	一般社団法人群馬県宅地建物取引業協会 桐生支部から寄附
〃	12月17日	西地区ゴルフ愛好会から寄附
〃	12月19日	朗読奉仕員養成講座参加者募集
〃	12月25日	日常生活自立支援事業普及啓発講演会参加者募集
〃	2月 7日	宅建協会桐生支部からタオル寄附
〃	2月21日	茶話会（ふれあい交流会）紹介
上毛新聞シャトル	3月 5日	茶話会（ふれあい交流会）紹介

【かたくりの湯の情報掲載】

情報誌掲載

(株)昭文社まっふるマガジン編集部 『まっふるマガジン まっふる群馬21』

(株)ニューズ・ライン社 朝日印刷工業(株) 『おでかけ群馬2020-2021』
ぐんラボ！

上毛新聞 『ぐんまの温泉〈日帰り入浴〉パスポート』

5 その他

- (1) 福祉ぐんま（発行：群馬県社会福祉協議会）の配布
年4回（4月・8月・10月・2月）

■ 調査・研究

各事業で参加者等を対象としたアンケートを実施し、事業の改善や住民ニーズの把握に努めた。把握した情報を今後の事業展開に役立て、各種事業の充実を図りたい。

■ 地域福祉事業

(成果)

- 1 みどり市と連携しながら地域課題の把握に努め、第3期の地域福祉活動計画を策定した。
- 2 講談で学ぶ日常生活自立支援事業の講演会を行うことで市民に事業の周知をすることができた。

(課題)

- 1 今後高齢化率の進行や精神障がい者数の増加が考えられることから、日常生活自立支援事業や成年後見制度などの権利擁護事業を市民に周知啓発していく必要がある。
- 2 日常生活自立支援事業の利用者が増えることにより生活支援員を増員していく必要がある。
- 3 ひとり暮らし高齢者への見守りや声かけ等の支援が活発に行われているが、支援する側が高齢になってきており、担い手が少なくなっている。

1 地域福祉活動推進事業

地域内において、住民参加により主体的に取り組む地域福祉活動の推進が図られることを目的に、行政区を単位に支援を図った。支援をする側が高齢になり、担い手が少なくなっている中でひとり暮らし高齢者宅への見守りや声かけ等の支援が活発に行われた区が多かった。継続して人と人とのつながりが希薄化しないよう、必要時には行政区への情報提供や活動支援を行っていききたい。

実施地区	市内各行政区（全32区）
実施主体	行政区
協力機関	福祉部、各種団体

2 心配ごと相談事業

相談者の社会生活の支援と福祉の向上が図られるよう、住民のあらゆる心配ごとの相談に応じ、適切な助言指導を行った。引き続き、相談しやすい窓口としての対応をしていく。

地 区	開設日数	相談件数
笠 懸	21 日 (-2)	99 件 (-4)
大間々	12 日 (±0)	42 件 (+5)
東	11 日 (-1)	9 件 (+5)
合 計	44 日 (-3)	150 件 (+6)

3 入れ歯リサイクル事業

地域福祉活動の財源確保と環境改善活動を推進することを目的に、福祉貢献事業として、使わなくなった入れ歯の回収を行なったが、今年度はユニセフ協会より回収業務が行なわれなかったため、回収益金は無かった。今後も社協だよりや介護予防教室等にて住民への周知を図っていく。

入れ歯回収個数	20 個 (-29)
宝飾品回収件数	0 件 (±0)
ユニセフ回収量	0 g (-493)
回収益金	0 円 (-15,274)

4 日常生活自立支援事業の支援

判断能力の不十分な高齢者や障がい者の在宅生活における福祉サービス利用や契約行為の支援を図るため、生活支援員並びに基幹社会福祉協議会（桐生市社会福祉協議会）と連携し情報共有することができた。新規問合せ・相談は多数あったが、利用に繋がるケースは少なかった。

講談で学ぶ日常生活自立支援事業の講演会を行うことで市民の方に事業の周知をすることができ、生活支援員として活動を希望される方も何名かいた。引き続き生活支援員の増員をしていけるよう周知を行っていき、基幹社会福祉協議会とも連携をとりながら、利用者への迅速な対応を図っていききたい。

地 区	当年度末利用実人数		生活支援員総数	従事生活支援員数
笠 懸	認知症高齢者	4 名 (±0)	46 名 (±0)	13 名 (+2)
	知的障がい者	3 名 (±0)		
	精神障がい者	6 名 (+2)		
大間々	認知症高齢者	1 名 (±0)	51 名 (±0)	6 名 (+1)
	知的障がい者	1 名 (±0)		
	精神障がい者	4 名 (+1)		
東	認知症高齢者	0 名 (±0)	5 名 (±0)	1 名 (±0)
	知的障がい者	0 名 (±0)		
	精神障がい者	1 名 (±0)		

講演名	日常生活自立支援事業普及啓発講演会 「“講談で学ぶ”日常生活自立支援事業」	
実施日時	令和2年1月25日（土）	13時30分～14時30分
実施場所	ながめ余興場	
講談師	神田織音	
参加者数	168名	

5 社会を明るくする運動への協力

犯罪や非行のない安全・安心な地域社会を築くことを目的に、罪を犯した人たちの更生について理解を深め、犯罪や非行の防止と立ち直りを支える社会作りを推進する社会を明るくする運動や、市広報等による啓発活動に協力した。

主 催	みどり市社会を明るくする運動推進委員会
期 間	令和元年 7月 1日～ 7月31日（強調月間）
内 容	住民集会への協力（7月7日）、横断幕・のぼり旗の提示、啓発品の配布

6 軽スポーツ用具貸出事業

福祉に対する理解を深め、健康増進や地域住民の交流推進に寄与することを目的に、軽スポーツ用具を無料で貸し出し、各種大会、講習会、総合学習、レクリエーションなどに活用していただいた。貸出件数や延貸出日数に関しては、概ね増加している。今後も全体的に周知の方法を考える必要があると感じた。

用 具 名	貸出件数	延貸出日数
羽根っこゲーム	12 件 (+7)	28 日 (+7)
ペタンク	5 件 (+4)	2 日 (+1)
ビンゴボードゲーム	21 件 (+12)	88 日 (+52)
輪 投 げ	25 件 (+12)	77 日 (+22)
ナンバーストライクゲーム	7 件 (+1)	41 日 (+15)
カーリングゲーム	2 件 (±0)	3 日 (-2)
バレリード	0 件 (±0)	0 日 (±0)
ターゲットゲーム	6 件 (+3)	22 日 (+10)
エレクトリックダーツ	2 件 (+1)	17 日 (+16)
ラダーゲッター	3 件 (±0)	12 日 (-1)
オーバルボール	5 件 (+2)	21 日 (+13)
競馬でGO	0 件 (±0)	0 日 (±0)

7 福祉体験用具貸出事業

福祉に対する理解・関心を深めることを目的に、福祉体験用具を貸し出し、総合学習等に活用していただいた。前年度と比べ貸出数は大幅に増えた。

用 具 名	年間貸出数
高齢者疑似体験用具（もみじ箱）	66 セット (+33)
簡易点字器	80 個 (+80)
白杖	33 本 (+23)
アイマスク	130 枚 (+120)
車イス	27 台 (+27)

8 みどり市健康福祉まつりへの協力

健康・福祉・子育て・介護等の啓発や、地域住民同士のふれあい、交流を深めることを目的に開催協力を行った。より多くの団体が参加できるように関係部署に働きかけ、各団体を支援した。

実施日	令和元年10月6日（日）
実施場所	笠懸公民館
参加内容	社協活動紹介、災害ボランティア体験コーナー、館内福祉体験ツアー、福祉マークビンゴ、子育てサロンおもちゃ体験、高齢者よろず相談コーナー、かき氷販売（障害者福祉センター）、喫茶ぺちやくちや営業支援（障害者福祉センター）

9 第3期みどり市地域福祉計画・地域福祉活動計画の策定

令和2年度からの第3期計画を策定するため、みどり市と連携して地域の福祉課題の把握に努め、その解決策を検討し、第3期計画を策定した。

実施内容	実施日・期間等
第2回事務局内検討会議	令和元年6月20日
第3回策定懇談会	令和元年7月26日
第1回検討部会（4部会）	
第2回検討部会（4部会）	令和元年8月5日～9日
第3回検討部会（4部会）	令和元年8月30日～9月3日
第3回事務局内検討会議	令和元年9月5日
パブリックコメント募集	令和元年9月26日～10月25日
第4回策定懇談会	令和元年10月1日
第5回策定懇談会	令和元年11月20日
計画書デザインコンクール表彰式	令和2年2月10日

10 区長会との連携協力

各種事務事業の推進と実施にあたっての支援と協力を依頼し、地域福祉の向上が図られるよう適宜協力をいただいた。

行政区の役員等との連携をさらに深め、地域との相互協力体制を強化していきたい。

11 民生委員児童委員協議会との連携協力

各種事務事業の推進と実施にあたっての支援と協力を依頼し、地域福祉の向上が図られるよう適宜協力をいただいた。

地域福祉をさらに推進するため、民生委員との連携を強化していきたい。

12 各種福祉団体への活動支援

会の運営や研修事業、各種活動について育成支援を行った。各種福祉団体の社会性がより高まるような活動支援に努めたい。

■ ボランティア育成支援事業

(成果)

- 1 健康福祉まつりのイベントとして市民参加による災害ボランティア体験コーナーを設置し、社協職員がコーディネートの訓練を実施することができた。

(課題)

- 1 災害ボランティアセンター設置運営訓練から把握した課題をマニュアルの改訂に反映することができなかった。
- 2 ボランティア登録をする個人やコーディネート件数が減少傾向にあるため、ボランティアの活性化を図る方策を検討する必要がある。

1 ボランティア養成講座

ボランティア活動に活かせる知識、技能の習得や資質の向上を図ることを目的に、活動に関心のある小中学生を対象に講座を開催した。継続的な活動につながるよう、時代に沿った養成講座を開催する。

(1) 夏休み小中学生ボランティア体験スクール

開催期間	全 4 回 (令和元年8月7日、8月9日、8月17日、8月20日)
会 場	障害者福祉センター他
受講者数	13 名 (-1)
修了者数	12 名 (-1)

2 善意銀行

市民から寄せられる善意に基づく金銭や物品の受け入れ並びに活用のための払い出し業務を実施した。ペットボトルキャップの分別は、キャップへの異物混入が多く作業に多くの時間を要しているため、寄付者を始め周知活動に注力する必要がある。

現金	預託金額	853,602 円 (-38,315)
	預託件数	29 件 (±0)
	払出金額	210,000 円 (-9,113)
物品	預託件数	24 件 (-5)
	払出件数	16 件 (+1)
リサイクル品	使用済切手、使用済テレホンカード、プルトップ、ペットボトルキャップなど随時預託を受け付けた。	

3 ボランティア活動保険等の取り扱い事務

ボランティア活動の推進を図るため、ボランティア活動中の不慮の事故や賠償責任等に備えた保険制度の取り扱い事務を行った。自然災害が多数発生し、個人で被災地にボランティアに行く人が増加した。市民が安心してボランティア活動に取り組めるように入会時の処理や事故対応を速やかに行っていきたい。

取り扱い内容	受付件数(追加・変更含む)	事故件数
ボランティア活動保険	64 件 (+17)	0 件 (-1)
ボランティア行幸用保険	93 件 (+2)	0 件 (-1)
福祉サービス総合補償	23 件 (+9)	0 件 (-1)

4 ボランティアセンター

ボランティア活動を希望する方とボランティアを求めている個人・団体・施設・機関等との調整並びに橋渡しをした。

健康福祉まつりでは災害ボランティア体験コーナーを設置し、市民に支援活動を疑似体験をしていただいた。また、台風による大きな被害があった佐野市の災害ボランティアセンターへ職員を派遣し被災地域を支援した。近年大規模災害が増えているため、災害備蓄品を補充し有事への備えを強化した。

ボランティア登録者数	8 名 (-12)
ボランティア登録者団体数	27 団体 (+1)
コーディネーター件数	9 件 (-9)

5 ボランティア団体等への活動支援

ボランティア連絡協議会や災害ボランティアの会をはじめ、ボランティア活動団体の運営及び活動の育成支援を行った。各団体が活発に活動できるよう、必要に応じて各団体同士を繋げながら活動を支援していく。

■ 在宅福祉事業 (成果)

1 安心支援事業を全域実施し、地域の支え合い活動が拡充した。

(課題)

1 安心支援事業の全域実施に伴い、新たなサポーターの発掘と育成、制度の見直しが必要である。

1 みどり市安心支援事業【受託事業】

日常生活において、支援が必要な在宅高齢者を同じ地域で暮らす市民ボランティア（サポーター）が有償支援することで、高齢者やその家族が地域で安心して暮らせることを目的に、みどり市全域を対象に本格実施した。市全域となったため利用者は大きく増加したが、サポーター登録者数は微減した。利用対象者への周知に併せサポーターの増員を図るための周知活動を行っていききたい。

地 区	利用登録者数 (累計)	サポーター登 録者数	年間コーデ ィネット数
笠 懸	67 名 (+15)	34 名 (-1)	24 組 (-12)
大間々	48 名 (+18)	29 名 (-1)	
東	6 名 (+2)	3 名 (±0)	

2 配食サービス事業【受託事業】

在宅の独居高齢者や夫婦のみの高齢者世帯等に対し、心身の健康維持と見守り支援を行うことを目的に、ふれあい訪問の要素を踏まえつつ、生活援助としての配食サービスを実施した（自己負担金あり）。

関係機関と連携し、在宅での食生活の安定と見守り支援による孤独感の解消を図っていく。

地 区	配 食 日	実利用者数	実施回数	延配食数
笠 懸	月・木曜日	17 名 (-3)	105 回 (+1)	1,176 食 (-135)
大間々	月・木曜日	26 名 (-3)	105 回 (+1)	1,124 食 (-521)
東	火・金曜日	14 名 (-4)	98 回 (-3)	743 食 (-243)

3 訪問理容サービス事業【受託事業】

在宅のねたきり等高齢者や重度障がい者に対し、衛生面の保持と在宅生活の支援を目的に訪問理容サービスを実施した。今後も衛生的な在宅生活が維持できるように訪問理容サービスを継続していく。

利用対象者	利用券支給実人員	利用された枚数
ねたきり等高齢者	28 名 (-5)	60 枚 (-2)
重度障がい者	23 名 (-2)	50 枚 (-5)

4 福祉車両貸出事業

在宅生活の支援と社会参加の機会の提供のため、介護を要する高齢者や障がい者に対して車椅子のまま乗車できる福祉車両を貸し出した。延べ利用者数は減少したものの、社協だよりに掲載したことで新規の利用者は7名増加した。多くの人が安全に利用できるよう車両の管理を徹底していく。

地 区	延利用者数	延貸出日数
笠 懸	37 名 (-7)	63 日 (-17)
大 間 々	62 名 (+2)	70 日 (-10)
東	5 名 (+4)	12 日 (+11)
合 計	104 名 (-1)	145 日 (-16)

安心支援事業において、サポーターによる高齢者の通院や買物等の日常生活支援に寄与するため付き添い支援専用の福祉車両を貸し出した。東地区では付き添い支援の利用者がいないため、利用者の多い大間々地区に車両を移管した。前年度より延利用者数、貸し出し日数が増えている。サポーターが安心して安全に利用者の支援ができるように車両の適正な管理に努めたい。

地 区	延利用者数	延貸出日数
笠 懸	65 名 (+1)	65 日 (+1)
大 間 々	244 名 (+160)	244 日 (+160)
合 計	309 名 (+161)	309 日 (+161)

5 日常生活用具貸出事業

家族等の介護負担軽減や在宅生活の支援を図ることを目的に在宅の重度障がい児・者やねたきり高齢者等に対し、車椅子や介護ベッド等を貸し出した。今後も制度による給付や貸与が適用とならない状況の人の日常生活の便宜および自立生活向上を図り、在宅生活の支援を行っていく。

貸 出 品	地 区			貸出合計件数
	笠 懸	大間々	東	
ギャッジベッド	0 件 (±0)	0 件 (±0)	0 件 (-1)	0 件 (-1)
電動ベッド	2 件 (±0)	0 件 (±0)	0 件 (±0)	2 件 (±0)
車 椅 子	23 件 (+7)	8 件 (-16)	7 件 (-3)	38 件 (-12)

6 家族介護者交流事業(リフレッシュサロン)【受託事業】

在宅で高齢者等を介護する介護者に対し、日々の介護の疲れを癒し介護の知識や技術を深めるための相談や適切な助言指導を行った。参加者は増加傾向ではあるがまだ募集定員に満たないため、より多くの人に参加いただけるように実施内容や周知方法に工夫を加え、参加者相互の親睦とリフレッシュを図るための支援を行う。また参加者アンケート実施等でニーズに沿った事業を実施したい。

実 施 日	会 場	参加者数
令和元年7月10日	足利学校・鑿阿寺	19 名 (±0)
令和元年10月29日	川場田園プラザ・原田農園	23 名 (+5)

■ 高齢者福祉事業

(成果)

- 1 高齢者の生活支援体制整備に向けて多様な主体が話し合う場「協議体」を各町圏域を対象とする第2層で定期的に行うことができた。
- 2 地域包括支援センターは、身近な相談窓口として認知され、相談件数が増加した。

(課題)

- 1 第1層・第2層とも協議体が活性化するように生活支援コーディネーターが中心となって支援していく必要がある。
- 2 老人クラブ連合会の会員数が施設入所や死亡により年々減少している。70代でも仕事をしている方が多いため、会員増強していけるようにどのように支援していくかが課題である。
- 3 介護予防教室(サロン)の新規参加者・男性参加者獲得に向けた実施内容の充実化を図り、併せて周知の強化及び周知方法の見直しでより多くの人にサロンへの興味を持ってもらうためのきっかけづくりを地道に行っていくことが必要である。
- 4 敬老旅行の参加者が大幅に減少したため、一人当たりの参加費の金額設定やコース、周知方法等を検討する必要がある。
- 5 地域包括支援センターでは、関係機関・団体、市民等の連携を更に強化する必要がある。

1 地域包括支援センター事業【受託事業】

高齢者が住み慣れた地域でその人らしい尊厳のある生活を継続するため、要介護状態への予防（重度化防止）、介護、医療など様々なサービスを本人の状態に応じて提供することを目的に、心身の健康の維持、保健・福祉・医療の向上、生活の安定のために必要な援助及び支援を次のとおり包括的に実施した。

- (1) 高齢者の様々な相談ごとに対応するための総合相談支援業務、権利侵害を受けたり生活が困難な状態にある高齢者等に対して専門性に基づく支援（認知症高齢者支援、高齢者虐待対応、成年後見制度申立て支援等）を行う権利擁護業務
- (2) 支援困難ケースを抱える介護支援専門員が継続的な支援を行うための多職種による地域ケア会議
- (3) 関係者のネットワーク構築や介護支援専門員の資質向上を図るための包括的・継続的ケアマネジメント業務等

また、関係機関・団体等と共に、在宅医療と介護連携の推進、生活支援体制整備事業、認知症総合支援事業等への連携・協力を行った。

指定介護予防支援事業や介護予防・日常生活支援総合事業（総合事業）に関しては、関係法令や市の方針に基づき、利用対象者に対して適切にサービス提供すると共に、その業務の一部を適切に居宅介護支援事業所に委託することにより行った。

(1) 介護予防支援業務実績数（一部委託を含む）

	延実績数	金額
笠懸	2,303件(+156)	10,163,090円(+684,990)
大間々	2,034件(+113)	8,942,390円(+487,090)
東	339件(-36)	1,486,380円(-147,120)
合計	4,676件(+233)	20,591,860円(+1,024,960)

(2) 相談方法

	笠懸	大間々	東	計
来 所	240 件 (+135)	253 件 (-107)	223 件 (+70)	716 件 (+98)
訪 問	602 件 (+95)	381 件 (-58)	201 件 (+21)	1,184 件 (+58)
電 話	1,959 件 (+692)	1,125 件 (-95)	419 件 (-89)	3,503 件 (+508)
その他	40 件 (+5)	69 件 (-20)	232 件 (-65)	341 件 (-80)
合計	2,841 件 (+927)	1,828 件 (-280)	1,075 件 (-63)	5,744 件 (+584)

(3) 相談内容

	笠懸	大間々	東	計
介護保険サービス関係	1,556 件 (+803)	845 件 (-78)	633 件 (-14)	3,034 件 (+711)
高齢者福祉サービス関係	255 件 (+169)	46 件 (-23)	19 件 (-56)	320 件 (+90)
医療関係	115 件 (-22)	140 件 (+17)	87 件 (-34)	342 件 (-39)
認知症関係	227 件 (+19)	135 件 (-208)	73 件 (+52)	435 件 (-137)
成年後見	23 件 (-53)	23 件 (-32)	0 件 (-1)	46 件 (-86)
措置	0 件 (-25)	27 件 (-14)	0 件 (±0)	27 件 (-39)
日常生活自立支援	15 件 (-9)	1 件 (-6)	0 件 (±0)	16 件 (-15)
高齢者虐待	37 件 (-50)	63 件 (-2)	5 件 (+5)	105 件 (-47)
困難事例	361 件 (+223)	31 件 (-36)	8 件 (-5)	400 件 (+182)
消費者被害	32 件 (+32)	9 件 (±0)	12 件 (+12)	53 件 (+44)
その他	220 件 (-160)	508 件 (+102)	238 件 (-22)	966 件 (-80)
合計(延)	2,841 件 (+927)	1,828 件 (-280)	1,075 件 (-63)	5,744 件 (+584)

2 敬老旅行【受託事業】

健康で生きがいのある生活を送っていただくことを目的に、温泉保養による健康の保持・増進や参加者相互の交歓と親睦を図った。

参加者は前年比50名程度の減少となったが、参加者からは、ホテルの設備や中日観光の内容に満足できなかったとの意見があったため、参加費の増額による旅行内容の充実を図るべく検討する必要がある。

多くの方に参加していただけるよう、魅力ある旅行プランの提供と周知の徹底を図りたい。

実施期間	令和元年11月12日（火）～14日（木）（全地区）
実施方面	新潟県赤倉温泉
宿泊場所	ホテル太閤
参加者総数	125 名 (-46)

3 敬老行事地区事業

地域住民が高齢者とのふれあいを通じ、地域における高齢者の見守りネットワークづくり推進や地域組織化を目的に実施した。資料作成や印刷などの支援を行った。引き続き必要に応じて情報提供や活動支援を行っていききたい。

対象者	概ね80歳以上の高齢者
補助対象者数	4,102 名 (+23)
実施地区	市内各行政区（全32区）
実施主体	行政区
協力機関	民生委員、福祉部、婦人会、各種団体等

4 高齢者の生きがいと健康づくり推進事業【受託事業】

軽スポーツによる健康増進活動や文化教養活動の参加を通じて、高齢者の健康保持及び増進と社会参加の促進を図ることを目的に実施した。年度末は新型コロナウイルスの感染拡大防止の為に中止にする活動もあり全体的に人数は減少した。1回の活動の参加人数は昨年度とあまり変わることはなかった。高齢化が進んでいるため引き続き活動の周知を行い、多くの人が社会参加できるように努めていきたい。

対象者：市内在住の高齢者

(1) みどり市老連 各種スポーツ大会

種 目	実施期日	会 場	参加者数
グラウンドゴルフ大会	令和元年6月6日	笠懸あすかホールグラウンド	129名(+3)
ゲートボール大会	令和元年6月18日	笠懸グラウンドゲートボール場	35名(-1)
スマイルボウリング大会	令和元年6月26日	ふるさと往来センター	74名(-6)
輪投げ大会	令和元年9月13日	みどり市民体育館	74名(-3)
新卓球大会	令和元年10月19日	みどり市民体育館	69名(-6)

(2) 笠懸老人憩の家

実施内容	実施回数	参加者数
カラオケ大会	2回(-1)	延 58名(-27)
教養講座「交通安全講座～安全で安心した生活を～」	1回(±0)	26名(+12)
高齢者談話室(茶話会)	11回(-1)	延 143名(-12)

(3) 老人福祉センター

実施内容	実施回数	参加者数
バンパープール大会	2回(-1)	51名(-30)
健康マージャン大会	2回(±0)	延 72名(±0)
将棋大会	1回(±0)	21名(-1)
まごころ♪のど自慢	2回(±0)	延 59名(+10)
ビニールバンド講座	45回(-1)	延 221名(-78)
健康マージャン講座	2回(±0)	延 36名(-9)
新卓球講座	2回(±0)	延 24名(-9)

5 みどり市在宅高齢者支援機関【受託事業】

在宅高齢者の生活を支援するため、サービスの調整や実態把握を通じて高齢者やその介護者などに対し、総合的な相談に応じ、各種サービスの利用や連絡調整等の支援を行った。

今後も行政区役員・地域住民・関係機関等との連携を図り、情報の共有化により実態把握調査の強化と高齢者の在宅生活がより充実したものになるよう支援していく。

地 区	延相談件数	実態把握調査件数
笠 懸	475件(+25)	184件(+12)
大間々	470件(+11)	233件(+8)
東	469件(+12)	86件(±0)

6 介護予防教室(サロン)事業【受託事業】

それぞれの地域で生活する高齢者が、要支援・要介護にならないよう自己啓発につながる効果的な予防活動に取り組み、生涯を通じて自立した暮らしを送れることを目的に実施した。全体的に延参加者数は減少しているが広報紙掲載・行政区役員・民生委員等との連携強化により参加者増加を目指し、参加者の心身健康促進につながる内容の提供に努めていく。新型コロナウイルス感染拡大対策による大間々・東地区の介護予防教室3月開催中止により実施回数及び延参加者数が減少した。

地 区	実施回数	延参加者数
笠 懸	50 回 (±0)	1,022 名 (-113)
大間々	51 回 (-4)	773 名 (-143)
東	55 回 (-5)	426 名 (-116)
合 計	156 回 (-9)	2,221 名 (-372)

7 ひとり暮らし高齢者交流事業【受託事業】

ひとり暮らし高齢者同士の交流や民生委員・ボランティアの方々との関わりを持つことで社会参加を促進し、地域との繋がりをつくることを目的に交流事業を実施した。今年度は、冬季における入浴時の注意事項や感染症予防の対処法等について健康づくり講座を開催し日頃の独居における不安解消の手助けをすることができた。

実 施 日	令和元年11月25日
会 場	みどり市高齢者生活福祉センター
参加者数	64 名 (+1)

8 生活支援コーディネート事業【受託事業】

協議体設立後は、町域の第2層協議体と市全域の第1層協議体にて活動を進めてきた。第2層協議体では地域の現状を振り返り自分たちでテーマを定め、定期的に会議を開催して協議を深めることができた。第1層協議体では第2層協議体の取り組みや進捗状況を情報共有し、市全域で共通する福祉課題を把握することができた。今後も継続した会議開催の定着化を図ることができるよう、適宜関係者会議を開催することや他市の活動情報も取り入れて協議を進めていきたい。

(1) 第2層協議体活動経過

①笠懸地区 会場：社会福祉協議会 本所

回数	期日	出席人数	主な検討テーマ
第1回	令和元年5月14日	9名	みどり市安心支援事業について
第2回	令和元年6月28日	11名	笠懸地域の高齢者を支える活動
第3回	令和元年7月31日	13名	資源マップ(仮称)作成に向けて
第4回	令和元年8月30日	12名	〃
第5回	令和元年9月26日	9名	〃
第6回	令和元年10月29日	12名	〃
第7回	令和元年11月27日	11名	〃
第8回	令和元年12月19日	11名	〃
第9回	令和2年1月28日	13名	〃
第10回	令和2年2月21日	12名	〃
中止	令和2年3月30日	—	—

②大間々地区 会場：市役所 大間々庁舎

回数	期日	出席人数	主な検討テーマ
第1回	平成31年4月23日	11名	意見交換
第2回	令和元年5月21日	11名	見守りについて
第3回	令和元年6月18日	9名	〃
第4回	令和元年7月23日	9名	見守りの対象について
第5回	令和元年9月24日	9名	〃
第6回	令和元年10月24日	11名	1層協議体への報告について
第7回	令和元年11月21日	10名	見守りの対象について
第8回	令和元年12月17日	11名	〃
第9回	令和2年1月22日	11名	〃
第10回	令和2年2月18日	10名	〃
中止	令和2年3月16日	—	—

③東地区 会場：社会福祉協議会 東支所

回数	期日	出席人数	主な検討テーマ
第1回	令和元年5月20日	8名	東地区の交通について
第2回	令和元年7月22日	11名	高齢者アンケートについて
第3回	令和元年9月30日	10名	あずま会版高齢者アンケート
第4回	令和元年10月28日	9名	〃
第5回	令和元年11月25日	10名	〃
第6回	令和2年2月10日	10名	アンケート集計作業
中止	令和2年3月30日	—	—

(2) 第1層協議体活動経過

回数	期日	出席人数	主な検討テーマ
第1回	令和元年11月1日	12名	2層協議体の取り組みについて

9 老人クラブ連合会への活動支援

会の運営や研修事業、各種活動について育成支援した。昨年度から会員が80名程減少している。施設入所や死亡等による会員減少と若い世代の入会が促進できないことで会員が減少傾向にあるため老人クラブ連合会役員と連携し会員増に努めていきたい。

■ 障がい者福祉事業

(成果)

- 1 障がい者福祉事業の今後の展開について、理事専門部会地域福祉部会において検討することができた。
- 2 平成17年度以降開催できなかった喫茶ぺちやくちゃ運営委員会を実施することができた。また、身障連会員の新規従事者も増えこれまで以上に運営体制を強化することができた。
- 3 手話入門編の受講者が昨年度より増え、基礎編も修了率が高かった。
- 4 手話体験教室の参加者が手話入門編を受講し、手話学習を始めるきっかけを作ることができた。

(課題)

- 1 理事専門部会地域福祉部会の検討結果を踏まえて、障がい者福祉事業の所管部署の移行等が計画的かつ円滑に進むように関係機関や利用者と調整する必要がある。
- 2 手話体験教室の参加者数が昨年度より減ったため、周知方法等を検討する必要がある。
- 3 喫茶ぺちやくちゃに従事する身障連会員の高齢化に伴い、新たな担い手を開拓する必要がある。

1 地域生活支援事業【受託事業】

障害者総合支援法に基づき、障がい者の社会との交流や自立した生活を支援することを目的に、相談支援事業やコミュニケーション支援事業を行った。また、市民の障がい者への理解が深まり支援の輪が広がるよう支援者の養成を行った。

(1) 相談支援事業

年間相談（支援）件数	延 2,982 件 (-225)
計画相談等介護報酬他	2,996,770 円 (-20,510)

(2) 手話言語普及推進事業

派遣内容	派遣人数	利用者数	
		団体	個人
手話通訳者派遣	227 名 (-113)	3 団体 (±0)	8 名 (+1)
要約筆記者派遣	0 名 (-11)	0 団体 (-2)	0 名 (±0)

(3) 障害者意思疎通支援奉仕員養成事業

手話講習会 入門編

開催期間	令和元年6月26日～令和元年11月20日 全21回(毎週水曜日)
会場	笠懸保健センター 講習講座室
受講者数	39 名 (+22)
修了者数	26 名 (+11)
協力団体	みどり市ろう者協会、手話サークルさくら草の会、群馬県認定手話通訳者

手話講習会 基礎編

開催期間	令和元年5月29日～令和元年11月20日 全25回(毎週水曜日)
会場	笠懸保健センター 機能回復訓練室
受講者数	11名(-8)
修了者数	10名(-4)
協力団体	みどり市ろう者協会

手話講習会 ステップアップ講座

開催期間	令和元年12月4日(水)～令和元年12月25日(水) 前半4回 令和2年2月26日(水)～令和2年3月11日(水) 後半3回 ※令和2年3月4日・11日は新型コロナウイルス感染 拡大防止の為、中止
会場	笠懸保健センター 機能回復訓練室
受講者数	12名(-1)
修了者数	12名(-1)
協力団体	みどり市ろう者協会

手話講習会 体験教室

開催期間	令和元年5月22日(水)
会場	笠懸保健センター 機能回復訓練室
参加者数	13名(-19)
協力団体	みどり市ろう者協会、手話サークルさくら草の会、 群馬県認定手話通訳者

朗読奉仕員養成講座

開催期間	令和2年1月23日～令和2年2月20日 全5回(毎週木曜日)
会場	笠懸保健センター 機能回復訓練室
受講者数	8名(+1)
修了者数	8名(+3)
協力団体	朗読ボランティア笠懸

2 心身障害者療育訓練事業【受託事業】

市内在住の心身障がい児・者への社会適応(社会体験)の機会の提供と社会生活力の向上や社会参加の促進を目的に訓練(交流体験)事業を実施した。前年度と同様に市内の通所型の知的障がい者福祉施設(A型・B型作業所)への周知を行った結果、前年とほぼ同じ人数の参加者があった。

実施日	令和元年11月2日(土)
実施場所	サンシャイン水族館、サンシャインシティ散策
参加者数	16世帯 40名(-1)

3 視覚障がい者等録音テープ貸出事業

ボランティアグループの協力により作成される市広報等の朗読録音テープを、視覚による情報入手困難者に貸し出し、声による地域生活の支援を行った。利用者が増加せず、本事業の周知の弱さを実感したため、今後は事業所などに事業周知を行う。

※新型コロナウイルスの関係で、3月は活動無し。

実利用者数	貸出の内容	
4名(±0)	みどり市広報	11回
	みどり市議会だより	4回
	みどり市社協だより	3回

4 つばさまつり

障害者福祉センターを広く市民のみなさんに知っていただき、障がい児・者への理解を深めるとともに、障がい児・者、ボランティアと地域住民の交流を図ることを目的に実施した。今年度は市内の障害福祉サービス事業所2カ所（街かど作業所につこにつこ倶楽部、地域活動支援センターおおま）が新たに参加に加わり、まつりの運営を通じて地域関係者との交流をより深めることができた。

実施日	令和元年 7月 6日
実施場所	みどり市障害者福祉センター
協力団体 (当日)	ボランティア9団体・ 笠懸町地区福祉部会長会・ 市内の障害福祉サービス事業所2カ所 障害者福祉センター保護者会

5 思いやり駐車場利用証制度への協力

障がい者用駐車場の適正な利用を進める運動として、県と協定し、該当の申請者に対し障がい者駐車場の利用証の交付事務を行った。高齢者と妊産婦の申請があったが、他の区分では申請がなかった。全体として昨年度に比べ減少している。今後も社協だより等を活用し、市民へ周知・啓発を推進していく。

区 分	地 区			合 計
	笠 懸	大間々	東	
身体障がい者	0名(-1)	0名(±0)	0名(±0)	0名(-1)
知的障がい者	0名(±0)	0名(±0)	0名(±0)	0名(±0)
精神障がい者	0名(±0)	0名(±0)	0名(±0)	0名(±0)
高 齢 者	2名(-1)	3名(-1)	1名(±0)	6名(-2)
難 病 患 者	0名(±0)	0名(±0)	0名(±0)	0名(±0)
妊 産 婦	3名(-3)	1名(±0)	0名(±0)	4名(-3)
合 計	5名(-5)	4名(-1)	1名(±0)	10名(-6)

6 福祉パレードへの協力

知的障害者福祉月間(9月)に実施される啓発事業への協力を行った。

令和元年度は、幹事である広済会や各団体と連携を取り、福祉パレードへ参加した。

パレード実施期日	令和元年9月10日(火)
参加団体・機関等	みどり市手をつなぐ育成会、市内小中高等学校、市内知的障がい者福祉施設等

7 障がい者喫茶室「ぺちやくちゃ」の運営支援

笠懸公民館内に設置している喫茶コーナーの運営を障がい者が行うことで、地域交流とふれあい活動の推進が図れるよう支援した。平成17年度以降開催できなかった運営委員会を開催し、運営体制を強化することができた。新たな身障者連盟会員の参画も得られた。

運営委員との連携を図りながら今後はより多くの障がい者が参加できるような環境づくりを行っていききたい。

開 店 日	毎週火曜日～土曜日
年間運営日数	221 日 (-30)
従 事 者	火・木曜日＝みどり市地域活動支援センター 水・金・土曜日＝みどり市身障者連盟
喫茶売上総額	1,050,100 円 (-215,650)

8 障がい者団体への活動支援

身障者連盟、手をつなぐ育成会等の運営や各種活動について育成支援を行った。それぞれの団体で活動に興味を持った2～3名の入会があったが、会員の高齢化による退会も多く見られた。今後も新規の会員が増え、世代交代が進むよう役員と連携を図りながら活動を活性化していく。

■ 児童福祉・福祉教育事業

(成果)

- 1 親老児童館と笠懸東学童クラブでは、新型コロナウイルス感染拡大防止による学校休校による利用自粛をお願いし、利用数の減少がみられた。
- 2 市内の小中学校が実施する福祉教育活動に対する助成事業では、事業開始以降初めて全校から申請があり、学校が取り組む福祉教育に協力することができた。

(課題)

- 1 学童保育事業は、利用者の増加に伴い児童の安全を今まで以上に配慮したカリキュラムの検討が必要である。

1 児童健全育成活動（受託事業）

親老児童館・笠懸東学童クラブを拠点に、児童健全育成活動及び世代間交流活動を年間を通じて実施した。

児童同士の関わりや高齢者との世代間交流を児童の安全に配慮しながら、活動を行った。

(1) 第1親老児童館(こだまクラブ・のぞみクラブ・はやてクラブ)

年間開館日数	290 日 (-3)
延利用人数	20,389 名 (-3,341)
平均利用人数	70.3 名 (-10.7)

(2) 第2親老児童館(ひかりクラブ・やまびこクラブ)

年間開館日数	290 日 (-3)
延利用人数	16,647 名 (-921)
平均利用人数	57.4 名 (-2.6)

(3) 第1笠懸東学童クラブ(宙クラブ・虹クラブ)

年間開館日数	290日(-2)
延利用人数	15,001名(+1,462)
平均利用人数	51.7名(+5.3)

(4) 第2笠懸東学童クラブ(星クラブ)

年間開館日数	290日(-2)
延利用人数	10,252名(-2,132)
平均利用人数	35.4名(-7.0)

2 地域子育てサロン【受託事業】

子育てをしている保護者同士のふれあいと仲間づくり、情報交換の場(サロン)を開設し、孤立しがちな子育て家庭の不安の解消と連帯感を育んだ。より多くの人に利用していただくため、工夫した周知を図っていく。

実施日数	172日(-19) (月～金曜日。ただし、祝日及び小学校長期休業期間を除く。)
実施時間	午前10時から正午まで
実施場所	みどり市第1親老児童館
年間利用者	保護者 86名(-122)
	児童 106名(-97)

3 児童福祉週間の啓発協力

児童福祉週間(5/5～5/11)の啓発ポスターの掲示と啓発協力を行った。

4 学童・生徒の福祉教育活動推進事業

福祉教育活動や福祉体験活動の普及を目指し、市内小・中学校の申請に基づき、それぞれの特色を活かした体験的・実践的な福祉教育活動を通じて、児童・生徒への福祉の理解と向上に努めた。全校で補助金を活用いただけただけなので、引き続き活用していただけるように、各校に呼びかけていく。

実施内容	小学校	中学校
補助事業指定	8校(+1)	5校(+1)
福祉教育の支援	1校(+1)	0校(-1)

■ 母子寡婦福祉事業

(成果)

- 1 ひとり親世帯向けの事業企画会議や事業の中で若年層の世帯が参加しやすくなるような雰囲気作りに努めた。口コミなどで事業の周知が広がり、新規参加者が増加した。
- 2 会員の高齢化が課題となっている母子寡婦会と連携を取りながら、若年ひとり親世帯への声掛けなどを行った結果、若年世帯の会員が増加し活性化を図ることができた。

(課題)

- 1 依然として会員の高齢化が課題となっている母子寡婦会への若年層や父子世帯の入会を促進し、団体活動が活性化するように支援する必要がある。

1 若年ひとり親家庭組織化活動の支援

若年母子(父子)世帯を中心に、母子寡婦団体関係者を交えて「若年ひとり親家庭の集い」実施に向けた企画会議や事業を通じ、組織化に向けた取り組みを行った。多くの世帯に参加していただけるよう周知活動を行い定着化を図った。ロコミなどで広がり新たに参加する世帯が微増したが、新型コロナウイルス感染拡大防止で活動日数が減少したことで延べ参加者数は減少している。

年間活動日数	5日(-1)
延参加者数	保護者 29名(-9)
	児童等 61名(-15)

2 若年ひとり親家庭の集い

様々な問題と不安を抱えるひとり親家庭の相互の研鑽と親睦を図ることを目的に実施した。若年母子(父子)世帯の意見をできるだけ取り入れ、事業を実施し、多くの世帯や世代間で交流することができた。

実施日	内容	参加者数
令和元年5月26日(日)	バーベキュー交流会	14世帯 31名(+2)
令和元年10月26日(土)	お台場、すみだ水族館等	18世帯 41名(+13)

3 親子ふれあい交流事業の活動支援

母子寡婦団体と連携し、母子(父子)家庭相互の交流や情報交換、親子のふれあいの場を提供した。児童の健全育成と母子家庭等の自立促進の場や世代間交流の場として事業を実施した。

実施日	内容	参加者数
令和元年7月21日~22日	お台場、中華街散策、オービィ横浜等	9世帯 20名(±0)

4 母子寡婦会への活動支援

母子寡婦会主催の事業における若年層への声掛けにより、若年層の会員が微増した。寡婦や母子家庭、父子家庭の支援も加えた会の活動の充実と若年層にも魅力ある活動に繋がる支援を行う。

■ 法外援護事業

(成果)

- 1 緊急的な支援が必要な世帯に対して適切に法外援護費を支給し、世帯の自立を支援することができた。

(課題)

- 1 緊急的な支援が必要な世帯に対して適切に法外援護費を支給したが、支給後の生活状況の把握ができていないため、生活困窮者自立相談支援機関等との連携による継続的な自立支援が必要になっている。

1 法外援護費支給事業

法令の適用が困難で、緊急的かつ福祉的援護を必要とする世帯に対して、支援することにより生計安定と社会生活を営めるよう援護費を支給した。

相談件数	支給世帯数	支給総額
8 件 (±0)	4 世帯 (±0)	108,000 円 (-45,000)

2 行路人貸付事業

本年度は実績がなかった。今後も支所との連絡を速やかに行い、二重貸付の防止に努めたい。

年間貸付件数	貸付総額
0 件 (±0)	0 円 (±0)

■ 援護事業

(成果)

- 1 生活困窮世帯相談窓口の案内記事を市広報紙や社協だよりへ定期的に掲載するとともに福祉資金貸付事業と協力した。
また、市社会福祉課、こども課と連携することで、初期相談の段階から支援が必要と考えられる方と積極的に関わり、関係機関等へ出向いて支援ができた。
- 2 生活困窮世帯支援において行政や社協関係部署だけでなく、公共職業安定所や法テラスと情報交換を行うことで連携を密に図ることができた。

(課題)

- 1 生活困窮世帯からの新規相談件数は増加したが、情報提供だけでは課題解決につながらない事例があった。電話等の連絡手段がない、車を保有せず移動手段が限られるなど、訪問や同行が必要な事例が多かった。
しかし、対応が行き届かず、状況の推移を把握できていないことで、継続的な支援に結びつかないケースが多くなった。
- 2 住居確保給付金の制度案内を行ったケースでも、失業給付の活用で申請に至らない場合もあり、給付金の申請件数増加には至らなかった。
- 3 生活困窮者の相談支援では支援期間が長期化する対象者もあり、担当職員の過度な負担を軽減するため、職員の増員等を検討する必要がある。

1 生活困窮者自立支援事業【受託事業】

生活困窮世帯が困窮状態から早期に脱却し、地域において自立した生活を営むことができるよう支援するため、関係機関との連携等により本人の状態に応じた包括的かつ継続的な相談支援を実施した。また、離職等により経済的に困窮し、住居を喪失するおそれのある方に対しては住居及び就労機会の確保に向け、家賃相当額の金額を給付する住居確保給付金の申請受付事務を行った。

(1) 新規相談件数・支援件数・プラン作成件数

新規相談	60件 (+4)
支援申込	8件 (+7)
プラン作成※	6件 (+2)

※再プランを含む。

(2) 支援方法

電話相談・連絡	182件 (+97)
訪問・同行支援	111件 (+101)
面談	120件 (+47)
所内会議	0件 (±0)
他機関との会議	2件 (±0)
他機関との電話照会・協議	88件 (-14)
その他	9件 (+9)

(3) 住居確保給付金

申請種別	申請受付件数	決定件数
新規申請	1件 (±0)	1件 (±0)
延長申請	0件 (±0)	0件 (±0)
再延長申請	0件 (±0)	0件 (±0)

2 戦没者遺族援護事業【受託事業】

群馬県戦没者追悼式の参列事業が加わり、戦没者遺族の援護と相互交流を図ることを目的に事業を実施した。高齢化する遺族の状況を考慮し、遺族の方が参加しやすい事業を検討していきたい。

実施日	場所	参加者数
令和元年 5月22日	東京都内	45名 (-8)
令和元年 8月15日	前橋市	23名 (+23)
令和元年 10月16日	高崎市方面	43名 (+2)

3 戦没者追悼式への協力

群馬県戦没者追悼式への参加協力、みどり市戦没者追悼式への実施協力を行った。戦後74年経過し、戦争の悲惨さを忘れることなく恒久平和を祈念するため、引き続き協力していきたい。

(1) 群馬県戦没者追悼式

令和元年 8月15日 群馬県総合スポーツセンターぐんまアリーナ

(2) みどり市戦没者追悼式

令和元年 9月27日 あすかホールみどり大間々館

4 交通遺児就学援助金給付事業

交通事故による遺児に対して、就学の援助と社会的人材育成の支援を目的に学資の一部を給付する体制をとったが、今年度の実績はなかった。今後も県社協との連携を取りながら迅速に給付できるよう事務処理を進めていきたい。

給付件数	給付金額
0 件 (-1)	0 円 (-50,000)

5 遺族の会への活動支援

会の運営や研修事業、各種活動について支援を行った。会議等で事業等の案内をし、円滑に事業実施できるよう協力した。

■ 福祉資金貸付事業

(成果)

- 1 小口生活資金貸付事業では償還が長期にわたって滞っている債務者の生活実態を把握するため、生活困窮者自立相談支援機関と連携して世帯訪問を行い、現状を把握することができた。
- 2 償還を見込めない小口生活資金貸付事業の償還不能債務者の償還を免除した。

(課題)

- 1 新型コロナウイルスの感染拡大防止に伴う生活福祉資金の特例貸付の利用者急増に伴い、利用者の債権管理が懸念される。

1 生活福祉資金貸付事業【県社協受託】

経済的自立と生活意欲の促進を図り、世帯更生に寄与することを目的に、離職者・低所得者・障がい者・高齢者世帯の生活安定と自立を図るための群馬県社会福祉協議会が実施する各種資金の貸付に関する事務を行った。

また、長期滞留債務者への県社協の訪問活動に協力し、生活困窮者自立相談支援機関も同行して相談窓口を周知するとともに相談対応した。

コロナウイルス感染拡大の影響による収入の減少等により、緊急小口資金の相談・申請の増加が見込まれる。また、生活困窮世帯も浮き彫りとなっており、より連携を密にしていく。

資金種類	相談件数	申請件数	決定件数	貸付決定額
総合支援資金	3件 (-4)	0件 (±0)	0件 (±0)	0円 (±0)
福祉資金	3件 (-6)	0件 (±0)	0件 (±0)	0円 (±0)
教育支援資金	1件 (±0)	0件 (±0)	0件 (±0)	0円 (±0)
不動産担保型生活資金	1件 (+1)	1件 (+1)	1件 (+1)	3,807,000円 (+3,807,000)
臨時特例つなぎ資金	0件 (±0)	0件 (±0)	0件 (±0)	0円 (±0)
緊急小口資金	16件 (+3)	3件 (-8)	3件 (-8)	196,000円 (-354,000)

※ 本事業の資金種類に該当しない相談 7件 (-6)

2 小口生活資金貸付事業

一時的に困窮する低所得世帯に対し、経済的自立と生活意欲の促進を図り、世帯更生に寄与することを目的に、資金の貸付事業を行った。生活福祉資金の拡充に伴い、数年にわたって相談・申請ともに実績はない。

償還中の世帯の中には所在不明等のケースが多く、行政機関への住所照会により現住所地を把握し、生活困窮者自立相談支援機関との訪問により現状の生活状況を把握することができた。訪問により償還につながった世帯もあったが、死亡や償還不能等を確認できた世帯もあり、償還が不可能と判断した債務者の償還を免除した。

相談件数	0件 (±0)
申請件数	0件 (±0)
年度当初の債権	25件 1,046,000円 (-55,000)
当年度の新たな債権	0件 0円 (±0)
一部償還された債権	1件 2,000円 (-3,000)
償還が完了した債権	3件 100,000円 (+50,000)
償還を免除した債権	15件 679,000円 (+679,000)
年度末の債権	7件 265,000円 (-781,000)

■ 共同募金事業

(成果)

- 1 一般募金配分事業では、地域で必要とされる新たな配分事業として日常生活自立支援事業普及啓発講演会を行い、市民への啓発と周知を行うことができた。
- 2 地域歳末たすけあい募金配分事業では、おせち料理配食事業の衛生面の課題解決と対象者増加に対応できるように実施方法を見直した。

(課題)

- 1 一般募金及び地域歳末たすけあい募金の配分事業がマンネリ化している。

1 一般募金運動事業への協力

共同募金会みどり市支会が行う募金活動（地域・職域・団体・学校など広い分野での活動）に協力し、その配分金の活用についても連携協力した。

今後も市民の皆様にご協力いただき、共同募金の周知を行い、募金活動に理解をいただけるよう努める。

2 一般募金配分事業

赤い羽根一般募金配分金及び前年度地域歳末たすけあい募金再配分金により地域福祉の充実を図るため、福祉活動を実施した。

今後も共同募金会みどり市支会との連携を密にしながら各種福祉事業を実施するための財源確保に努め、地域のニーズに沿った事業が行えるよう精査していく。

福祉育成援助活動費	211,000 円 (+81,000)
障がい児・者福祉活動費	209,669 円 (-114,050)
母子・父子福祉活動費	552,000 円 (+40,000)
ボランティア活動育成事業費	380,000 円 (-25,000)

3 地域歳末たすけあい募金運動事業への協力

支援を必要とする人たちが地域で安心して新年を迎えられるよう、共同募金会みどり市支会が、募金活動（地域・職域・団体・学校など広い分野での活動）に協力し、その配分金の活用についても連携協力した。

今後の配分事業については、時代によって変化していく地域のニーズを把握し、ニーズに沿った事業が実施できるよう更に精査していく。

4 地域歳末たすけあい募金配分事業

地域歳末たすけあい募金配分金を、主に歳末に実施する各種事業に活用した。今後も共同募金会みどり市支会との連携を密にしながら各種福祉事業を実施するための財源確保に努め、地域のニーズに沿った事業が行えるよう精査していく。

障がい児・者施設歳末行事助成事業	29ヶ所 (+3)	568,120円 (+62,396)
独居高齢者世帯等おせち料理配付事業	280世帯 (-9)	702,260円 (-263,402)
独居高齢者世帯福祉カレンダー配付事業	1,434世帯 (+19)	100,980円 (+13,068)
若年ひとり親家庭等東京ディズニーシー旅行	33世帯 (-5)	395,600円 (-8,280)
若年ひとり親家庭等クリスマスケーキ作り交流会	7世帯 (-1)	37,290円 (-1,547)
児童福祉施設等歳末行事助成事業	24ヶ所 (+1)	831,440円 (+6,040)
次年度の福祉サービス事業配分費	—	482,118円 (+62,449)

■ 居宅介護等事業(介護給付・予防給付)

(成果)

- 1 介護保険制度改正に伴うサービス利用者への配慮ときめ細かな対応に努めた。
- 2 訪問入浴事業は、職員体制を整備することが難しいため廃止した。

(課題)

- 1 利用者の施設入所などに伴い介護報酬が減少した。これからも引き続き質の高いサービス提供により、利用者満足していただけるよう努めることが必要である。

1 居宅介護支援事業

利用者主体のもとに介護相談、要介護認定申請代行、関係機関との連絡調整、介護計画(ケアプラン)作成、保険給付管理、介護予防、生活支援(住宅改修)など対象者への継続的支援を行ったが、施設入所や入院があり前年度と比較して報酬額が下回った。今後は医療と介護の連携をより一層図り、利用者主体としたサービス提供に努めていきたい。

(1) 居宅介護支援

事業所名	延支援計画件数	居宅介護報酬額
居宅介護支援事業所笠懸	450件 (-56)	5,112,410円 (-671,470)
居宅介護支援事業所大間々	667件 (+74)	7,990,700円 (+860,810)
居宅介護支援事業所東	508件 (-48)	6,779,810円 (-475,030)

(2) 予防給付支援

事業所名	延支援計画件数	予防給付報酬額
居宅介護支援事業所笠懸	75件 (-21)	322,810円 (-89,990)
居宅介護支援事業所大間々	222件 (+15)	979,790円 (+68,690)
居宅介護支援事業所東	70件 (-32)	301,270円 (-140,330)

2 要介護認定調査業務【受託事業】

市の依頼に基づき介護給付費受給申請者のもとに訪問し、要介護認定にかかる調査業務を行った。今後も適宜実施していきたい。

事業所名	延認定調査件数	調査委託収入額
居宅介護支援事業所笠懸	0 件 (±0)	0 円 (±0)
居宅介護支援事業所大間々	0 件 (-17)	0 円 (-58, 536)
居宅介護支援事業所東	84 件 (+8)	274, 680 円 (+28, 440)

3 訪問介護事業

介護給付対象の利用者に対し、身体介護や生活支援(家事援助)サービスを提供し、利用者の希望に即したサービス提供体制の推進に努めた。重度障害者が在宅から施設に移行になり減少もみられるが、利用者の拡充につながるよう実施していきたい。

◇訪問介護ステーション

	実利用者数の年間平均	延訪問回数	介護支援報酬額
笠懸	20.2 名 (-3.6)	2, 489 回 (-662)	9, 361, 195 円 (-3, 340, 205)
東	9.5 名 (+0.2)	1, 048 回 (+156)	4, 029, 040 円 (+162, 000)

4 訪問入浴介護事業

介護給付対象の利用者が在宅において健康的な生活と身体衛生が保てるよう、移動入浴車で居宅を訪問する訪問入浴サービスは、事業所の体制整備が困難になったため、令和元年10月1日付で廃止した。

5 通所介護事業

介護給付対象の利用者を家族介護者等に代わり通所の方法により日中お預かりをし、食事や入浴等の生活支援や他の利用者等との交流やリハビリ運動等による心身機能維持、健康管理などの支援サービスを提供するとともに、家族等の介護負担軽減も図った。

◇デイサービスセンター東

実利用者数の年間平均	延利用者数	介護支援報酬額
35.5 名 (-3.1)	4, 001 名 (-148)	27, 258, 140 円 (-2, 365, 990)

6 総合事業

予防給付対象の利用者が介護保険更新に伴い、介護予防訪問介護事業・介護予防通所介護事業から総合事業に移行し、サービス提供に努めた。

◇訪問介護ステーション

	実利用者数の年間平均	延訪問回数	1人あたり平均回数	介護支援報酬額
笠懸	23.0 名 (-2.9)	1, 837 回 (-130)	6.7 回 (+0.4)	5, 520, 150 円 (-718, 630)
東	7.9 名 (-1.4)	478 回 (-75)	5.0 回 (+0.1)	1, 771, 790 円 (-368, 100)

◇デイサービスセンター東

実利用者数の年間平均	9.5名 (-3.3)
介護支援報酬額	3,592,570円 (-823,354)

■ 障害者居宅介護等事業

(成果)

1 利用者のきめ細かい要望に応えることで、自立した生活のための支援ができた。

(課題)

1 よりよいサービス提供を行うため、職員の更なる資質の向上が必要である。

1 居宅介護事業

利用者の生活支援（家事援助）や身体介護等を提供し、利用者の希望に即したサービス提供体制の推進に努めた。精神障がい者で利用している方は時季や体調により変化が大きい。今年度は体調悪化による入院や施設への入所で減少もみられるが、利用者の拡充につながるよう実施していきたい。

◇訪問介護ステーション

	実利用者数の年間平均	延訪問回数	1人あたり平均回数	介護支援報酬額
笠懸	8.8名 (-0.2)	800回 (-59)	7.5回 (-0.5)	2,201,270円 (-369,890)
東	2.0名 (-0.4)	150回 (-71)	6.3回 (-1.1)	771,050円 (-299,000)

■ 施設管理運営【市指定管理受託】

(成果)

1 当該施設の管理業務について、適正な管理運営に努めた。

(課題)

- 1 新型コロナウイルスの影響により一部施設で臨時休館の措置が講じられ、利用人数が大幅に減少した。今回のような非常時における施設運営を更に検討する必要がある。
- 2 施設管理運営の受託期間が令和2年度で満了となるため、これまでの運営実績を検証していく必要がある。

1 親老児童館

放課後児童健全育成に関する制度に基づき、利用対象となる小学生に対し、放課後保育支援を行った。また、利用時間の延長に対応し、子育て支援の充実を図った。学校休校に対応し、利用者に利用自粛の協力を求めながら開所し運営した。

(1) 第1親老児童館(こだまクラブ・のぞみクラブ・はやてクラブ)

① 延利用人数：20,389名 (-3,341)

② 保護者会の開催：1回(7月)

(2) 第2親老児童館(ひかりクラブ・やまびこクラブ)

① 延利用人数：16,647名 (-921)

② 保護者会の開催：1回(7月)

(3) 行事等の実施[第1親老児童館・第2親老児童館]

月	行 事 内 容
4月	・避難訓練(地震) ・お楽しみ会(対面式)
5月	・誕生会 ・避難訓練
6月	・交通安全教室 ・七夕制作 ・不審者対策訓練
7月	・七夕まつり ・誕生会 ・交流会(親子タイル工作)
8月	・お楽しみ昼食会 ・映画鑑賞会
9月	・避難訓練(地震) ・誕生会 ・十五夜
10月	・ボランティア散歩 ・十三夜
11月	・誕生会 ・クリスマス制作 ・総合防災訓練
12月	・クリスマス会
1月	・交流会(親子かるた大会) ・お楽しみ会 ・誕生会
2月	・節分 ・避難訓練(火災)
3月	・ひなまつり ・誕生会

2 笠懸東学童クラブ

放課後児童健全育成に関する制度に基づき、利用対象となる小学生に対し、放課後保育支援を行った。また、利用時間の延長に対応し、子育て支援の充実を図った。学校休校に対応し、利用者に利用自粛の協力を求めながら開所し運営した。

(1) 第1笠懸東学童クラブ(宙クラブ・虹クラブ)

① 延利用人数：15,001名(+1,462)

② 保護者会の開催：1回(7月)

(2) 第2笠懸東学童クラブ(星クラブ)

① 延利用人数：10,252名(-2,132)

② 保護者会の開催：1回(7月)

(3) 行事等の実施[第1笠懸東学童クラブ・第2笠懸東学童クラブ]

月	行 事 内 容
4月	・お楽しみ会(新入所生歓迎会) ・読み聞かせ
5月	・節句 ・避難訓練 ・読み聞かせ
6月	・読み聞かせ ・不審者対策訓練 ・交流会(ボウリング大会) ・誕生会
7月	・七夕 ・読み聞かせ ・お楽しみ昼食会
8月	・夏休みの遊び ・お楽しみ昼食会 ・DVD鑑賞会
9月	・避難訓練 ・誕生会 ・十五夜 ・読み聞かせ
10月	・十三夜 ・読み聞かせ
11月	・読み聞かせ ・総合防災訓練
12月	・クリスマス制作 ・誕生会 ・クリスマス会 ・読み聞かせ
1月	・正月遊び ・読み聞かせ
2月	・節分 ・読み聞かせ
3月	・節句 ・お楽しみ会(お別れ会) ・誕生会 ・読み聞かせ

3 障害者福祉センター

みどり市における在宅障がい児・者の地域支援機関として、地域活動支援センター及び障害者デイサービスセンターを運営した。

(1) 地域活動支援センター

利用者が地域において自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう、創作的活動及び生産活動の機会を提供するとともに社会との交流を図った。

日常生活に必要な便宜の供与を適切かつ効率的に管理運営を行った。

年間運営日数： 240 日

年間利用人数： [西館] 3,440 名(1日平均 14.3 名)

[東館] 867 名(1日平均 3.6 名)

年間工賃総額： 1,243,502 円

在籍者数： [西館] 23 名(令和 2年 3月31日現在)

[東館] 26 名(同 上)

[行事等]

月	行事内容
4月	
5月	・保護者会 ・あさがお種まき、納品 ・チハヤ祭
6月	・第5ブロック交流会 ・保護者会 ・じゃがいも掘り ・誕生会
7月	・運営委員会 ・つばさまつり ・消防訓練
8月	・誕生会
9月	・福祉パレード ・あいあいレクリエーション大会 ・買い物訓練行事(東館) ・保護者会
10月	・バーベキュー交流会 ・日帰り研修(東館) ・市健康福祉まつり
11月	・鹿田山さつま芋掘り ・保護者会 日帰り研修(西館) ・消防訓練・地域清掃活動 ・誕生会
12月	・餅つき交流行事 ・クリスマス会
1月	・買い物訓練(初詣と食事会)(西館)
2月	・運営委員会 ・誕生会
3月	・じゃがいも植え

その他、ボランティアによる読み聞かせ(毎月1回)、調理実習、図書館見学、季節ごとの花見外出、スポーツ体験などを適時実施

[特別支援学校実習生(就業体験)受け入れ]

12月 県立渡良瀬特別支援学校高等部より 1名

[利用希望者の実習(体験利用)受け入れ]

6月 地域活動支援センター(東館) 1名

11月 地域活動支援センター(西館) 2名 計3名

[小中学生ボランティアスクール受け入れ]

8月 みどり市内及び桐生市内の小中学生 12名

[一般ボランティア体験希望者の受け入れ]

なし

(2) 障害者デイサービスセンター

重度心身障がい者の通所の場合として、養護、生活支援、日常動作訓練、食事、送迎、入浴サービスを行い、地域生活を支援し、介護を行う家族の負担軽減を目的に管理運営を行った。

年間運営日数： 240 日
 年間利用人数： 868 名(1日平均 3.6 名)
 在籍者数： 10 名(令和 2年 3月31日現在)

[行事等]

月	行事内容
4月	・機能訓練
5月	・機能訓練 ・保護者会
6月	・機能訓練 ・保護者会 ・誕生会
7月	・機能訓練 ・運営委員会 ・つばさまつり ・消防訓練
8月	・機能訓練 ・誕生会
9月	・機能訓練 ・保護者会 ・買い物訓練
10月	・機能訓練 ・バーベキュー交流会 ・日帰り研修
11月	・機能訓練 ・保護者会 ・誕生会 ・消防訓練
12月	・機能訓練 ・餅つき交流行事 ・クリスマス会
1月	・機能訓練
2月	・機能訓練 ・運営委員会 ・誕生会
3月	・機能訓練

その他、ボランティアによる読み聞かせ(毎月1回)、図書館見学、季節ごとの見学(散策)、散歩外出などを適宜実施

[実習生受け入れ]

なし

(3) 相談支援事業所

障がい児・者の基本的な相談に応じるとともに、サービス等利用計画作成のための相談、障害支援区分認定調査業務などを行った。より迅速な相談対応と円滑な支援のため連絡体制の充実を図った。

①相談支援を利用している障がい者等の人数

	実利用人数	実利用人数の障がいの内訳						
		身体障害	重症心身障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能障害	その他
障がい者	143 名	11	0	20	100	11	1	9
障がい児	1 名	1	0	1	0	1	0	0
合計	144 名	12	0	21	100	12	1	9
(前年比)	(+14)	(+4)	(±0)	(+1)	(+5)	(±0)	(±0)	(+5)

(内、10名は障がいの重複あり)

②支援方法

	訪問	来所相談	同行	電話相談	電子メール	個別支援会議	関係機関	その他	合計
件数	474 (-37)	90 (-63)	122 (+21)	596 (-318)	108 (-13)	3 (-57)	1507 (+167)	82 (+75)	2,982件 (-225)

③支援内容（重複あり）

内 容	件 数
福祉サービスの利用等に関する支援	1,892件 (-330)
障がいや病状の理解に関する支援	0件 (±0)
健康・医療に関する支援	383件 (-40)
不安の解消・情緒安定に関する支援	34件 (-14)
保育・教育に関する支援	0件 (±0)
家族関係・人間関係に関する支援	14件 (-2)
家計・経済に関する支援	159件 (+91)
生活技術に関する支援	7件 (-7)
就労に関する支援	68件 (+8)
社会参加・余暇活動に関する支援	7件 (-7)
権利擁護に関する支援	67件 (+32)
その他	378件 (+90)
合 計	3,009件 (-179)

(4) その他

①みどり市障害者福祉センター運営委員会

障害者福祉センター運営委員会を年2回開催し、施設の円滑な運営と障害者福祉の向上について協議した。

②みどり市障害者福祉センター保護者会

障害者福祉センター保護者会を4回開催し、施設行事等の協力や参加、保護者同士の意見交換等を行い、施設運営の協力と保護者会の円滑な運営を図った。

4 厚生会館

住民福祉の向上と市民活動を推進する地域施設としての施設運営に取り組んだ。今後も市民活動と地域福祉の向上に努めていきたい。

年間運営日数	298日 (-4)
年間利用人数	25,331名 (-3,373)
平均利用人数	85.0名 (-10.0)

5 温泉施設かたくりの湯(温泉スタンド管理含む)

住民福祉の向上及び健康増進を図ることを目的に、多くの市民等にご利用いただけるよう、今後も利用者のご意見を参考にし、施設の保全に取り組みながら管理運営を行っていく。

年間運営日数	291 日 (-28)
年間利用人数	123,256 名 (-9,634)
平均利用人数	423.6 名 (+7.0)

6 老人憩の家

地域の高齢者に対し、教養の向上やレクリエーションなどを楽しむ場を提供、また高齢者の心身の健康増進を目的に、管理運営を行った。新型コロナウイルス感染予防・感染拡大防止のため、令和2年3月2日より臨時休館となった。利用人数が減少しているため、多くの住民が施設利用できるよう創意工夫を図りたい。

	笠懸	大間々
年間運営日数	219 日 (-25)	282 日 (-26)
年間利用人数	7,995 名 (-2,424)	25,968 名 (-3,161)
平均利用人数	36.5 名 (-6.2)	92.1 名 (-2.5)
その他	—	温泉スタンド管理

7 老人福祉センター

地域の高齢者に対し、教養の向上や交流のための場を提供し、心身の健康増進が図られることを目的に管理運営を行った。多様なニーズに対応した講座や大会を実施することにより新たな利用者の参加が得られた。安心・安全な施設運営に取り組むたい。

年間運営日数	279 日 (-25)
年間利用人数	17,455 名 (-1,764)
平均利用人数	62.6 名 (-0.6)

8 高齢者生活福祉センター

高齢等のため、居宅において独立して生活することに不安のあるひとり暮らしの方等に対し、一定の期間の住居を提供し、自立生活の支援が図られることを目的に管理運営を行った。地域との繋がりをつくるために情報を提供し、安心・安全な施設運営に努めた。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月平均
既入居者	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3.0
新規入居者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.1
退出(退居)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.1
月末在籍	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3.0

■ その他

1 指導機関等による監査、実地指導等

(1) 介護保険法第23条の規定に基づくみどり市による実地指導

令和2年2月14日	居宅介護支援事業所大間々
令和2年2月26日	居宅介護支援事業所東
令和2年2月28日	居宅介護支援事業所笠懸

2 視察等の受け入れ

(1) 温泉施設かたくりの湯

令和元年 6月13日	笠懸小学校2年生
------------	----------

(2) 高齢者生活福祉センター・老人福祉センター

令和元年10月9日	南牧村・東地区民児協
-----------	------------

3 後援・共催

期 日	項目・事業	主催団体
令和元年7月17日～ 12月11日	大間々地域シニア教養講座	みどり市大間々公民館
令和元年7月23日～ 12月10日	第24回みどり市笠懸地域高齢者 大学	みどり市笠懸公民館
令和元年11月14日	第32回チハヤチャリティーゴル フコンペ	チャリティーゴルフコン ペ実行委員会